

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 6 日

(宛先) 長野市長 殿

提出者

住 所 長野県長野市鶴賀中堰144番地4

氏 名 株式会社植木組 長野営業所

所長 宮尾 正志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-226-1543

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社植木組 長野営業所
事業場の所在地	長野県長野市鶴賀中堰144番地4
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 3 1 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	13億7881万円(令和5年度元請完成工事高)
③ 従業員数	25名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	処理業者へ委託 【がれき・木くず・金属くず】…再生砕石、原料として再資源化 【廃プラ・建設混合等】…破碎、焼却、圧縮等により埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理 型)	汚泥(上・下水、 建設、その他)	木くず	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール)	建設混合廃棄物 (安定型、管理 型)	石綿含有産業廃 棄物
	排 出 量	111.086t	1,821.900t	2.475t	0.635t	2.210t	0.030t
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量						
	(これまでに実施した取組) ①計画・設計時に廃棄物の発生減に努め、工法・資材などを検討、採用・工夫する ②工材料の使用量など、適正管理する ③3R可能な資材の使用をすすめ、廃棄量の発生を抑える						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理 型)	汚泥(上・下水、 建設、その他)	木くず	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール)	建設混合廃棄物 (安定型、管理 型)	石綿含有産業廃 棄物
	排 出 量	96.000t	1,700.000t	2.000t	0.500t	1.500t	
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量						
	(今後実施する予定の取組) 上記取り組みを確実に実行できるよう連絡を密に取り、周知徹底の上、現場一丸となって抑制に努める						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 常に分別意識を持ち、混合廃棄物の割合減に努める
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取り組みを確実に実行できるよう連絡を密に取り、周知徹底の上、現場一丸となって抑制に努める

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	汚泥(上・下水、建設、その他)	木くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 実施なし						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	汚泥(上・下水、建設、その他)	木くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	汚泥(上・下水、建設、その他)	木くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	汚泥(上・下水、建設、その他)	木くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 実施予定なし							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	汚泥(上・下水、 建設、その他)	木くず	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール盒)	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	石綿含有産業廃 棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 実施なし						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	汚泥(上・下水、 建設、その他)	木くず	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール盒)	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	石綿含有産業廃 棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	汚泥(上・下水、 建設、その他)	木くず	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール盒)	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	石綿含有産業廃 棄物
	全処理委託量	111.09t	1,821.90t	2.48t	0.64t	2.21t	0.03t
	優良認定処理業者への 処理委託量						
	再生利用業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への 処理委託量						
	再生利用業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組) 委託基準に沿って産業廃棄物を委託できる業者を精査・選定し、書面により契約を実施する						

【目標】		建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	汚泥(上・下水、 建設、その他)	木くず	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含)	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	石棉含有産業廃 棄物
②計画	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量	96.00t	1,700.00t	2.00t	0.50t	1.50t	
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者へ処理委託量							
(今後実施する予定の取組) ①混合廃棄物減量のため、作業所内での分別、再生利用可能な材料、商品の使用を推進し、周知徹底に努める ②新築工事施工に関しては廃棄物発生抑制の観点に立ち、材料や工法を検討する ③解体工事に関して名建設リサイクル法及び基本方針に基づいて分別を実施する							
※事務処理欄							

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）											合 計
		建設混合 廃棄物(安 定型、管 理型)	汚泥(上・ 下水、建 設、その 他)	木くず	廃プラス チック(廃 タイヤ、 発泡スチ ロール)	建設混合 廃棄物(安 定型、管 理型)	石綿含有 産業廃棄 物						
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	111.09t	1,821.90t	2.48t	0.64t	2.21t	0.03t						1,938.34t
	本年度排出量(計画)	96.00t	1,700.00t	2.00t	0.50t	1.50t							1,800.00t
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	111.09t	1,821.90t	2.48t	0.64t	2.21t	0.03t					1,938.34t
		本年度計画(目標)	96.00t	1,700.00t	2.00t	0.50t	1.50t						1,800.00t
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。